

## 第24回『全国児童 水辺の風景画コンテスト』入賞作品決定のご案内

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団（Yamaha Motor Foundation for Sports）は、2012年10月23日（火）日展会館（東京都台東区）において、第24回『全国児童 水辺の風景画コンテスト』の最終審査会を行い、文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞（各1点）を含む入賞作品（計34点）を決定いたしましたので、ここにお知らせいたします。 ※応募総数 9,097 作品（昨年は 6,472 作品）

### ●文部科学大臣賞

「ズガニのかいぶつ、とったぜ〜！」



野口 夏輝（のぐち なつき）くん

鳥取県八頭郡八頭町 八頭町立船岡小学校 4学年（10歳）

### ●国土交通大臣賞

「にぎやかな海の人々の生活」



小倉 心愛（おぐら こころ）さん

東京都足立区 足立区立竹の塚小学校 6学年（11歳）

### ●環境大臣賞

「海の中」



松尾 和香（まつお わか）さん

兵庫県神戸市垂水区 塩屋幼稚園 年長（6歳）

### ●農林水産大臣賞

「土佐のどろめ漁」



斎藤 愛（さいとう あい）さん

高知県高知市 高知大学教育学部附属小学校 4学年（9歳）

※各賞の受賞者・コンテスト概要につきましては添付資料をご確認ください。

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局：担当・平塚

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp/>

## ■第24回『全国児童 水辺の風景画コンテスト』入賞者一覧（敬称略）

※「入賞」は最終審査を通過した合計 34 点の作品、「入選」は予選を通過した 304 点の作品のことを指します。

ここでは、入賞者のみ掲載しております。ご了承ください。

### ●最優秀賞(4点)

賞名	氏名	学年(年齢)	作品名	居住地	所属
文部科学大臣賞	野口 夏輝	4年(10)	ズガニのかいぶつ、とったぜ～!	鳥取県八頭郡八頭町	八頭町立船岡小学校
	作品の説明:「ものすごいでっかいズガニをとって「ウァ～」という気持ちになって「大物とったぜ～」とさげびました。」				
国土交通大臣賞	小倉 心愛	6年(11)	にぎやかな海の人々の生活	東京都足立区	足立区立竹の塚小学校
	作品の説明:「海のそばでくらしたら楽しいだろうなあと思いながら描いていたら本当に楽しくなってきました。」				
環境大臣賞	松尾 和香	年長(6)	海の中	兵庫県神戸市垂水区	塩屋幼稚園
	作品の説明:「おおきい魚が小さい魚を食べて、もっとも大きい魚がその魚を食べてしまうところを書きました。」				
農林水産大臣賞	斎藤 愛	4年(9)	土佐のどろめ漁	高知県高知市	高知大学教育学部附属小学校
	作品の説明:「高知市の隣の町の赤岡では、どろめ漁が盛んです。どろめにちよびりゆずをかけ食べると極上な味です。」				

### ◆審査員コメント

#### ●文部科学大臣賞

**小野 保 様** 文部科学省 スポーツ・青少年局 青少年課 青少年体験活動推進専門官

子どもがカニを獲って感動している様子が、大きく見開かれた力強い目でとてもうまく表現されています。またカニの姿がとても丁寧な色使いで描写されていますが、発見した喜びや生物への興味もしっかりと伝わってきます。この作品のように子どもたちが、水辺でいろいろな体験活動を行い、たくさんの感動・発見をしてほしいと思います。

#### ●国土交通大臣賞

**佐川 雅悦 様** 国土交通省 港湾局 海洋・環境課 港湾環境政策室 課長補佐

作品を描いた方のコメント通り、夢がたっぷりつまっており、海を楽しんでほしいという気持ちが、本当によくあらわれている作品だと思い選びました。今回の作品はどれも素晴らしいものですが、会場に入った瞬間に目に飛び込んできたもっとも印象深い作品でした。この作品のように子どもたちには夢を持って大きく育ってほしいと思います。

#### ●環境大臣賞

**池田 りか 様** 環境省 水・大気環境局 水環境課 課長補佐

今回も本当に素晴らしい作品が多く、一点だけを選ぶということで大変悩みました。この作品は自然の中で生きる命の力強さと、自然界の厳しさの両方をあらわしているということで選びました。自然には素晴らしいことがたくさんありますが、それだけでなく厳しいこともあるのだということ、幼稚園のお子さんが作品のなかで表現していることに感動しました。

#### ●農林水産大臣賞

**宇賀神 義宣 様** 農林水産省 水産庁 漁港漁場整備部 計画課 課長

この作品を選んだポイントはふたつです。まずは、漁船や漁師の方を描いている作品が多いなかで、魚が描かれていることです。これはイワシの子どもでもあるドロメですが、現場の雰囲気がとてもよく伝わってきます。もうひとつは、漁を終えたお父さんをお母さんと息子さんを迎えています。この2人の温かさが感じられるとともに、家族で漁を行っている楽しさが伝わってきて、とてもよい作品だと思いました。

## ●優秀賞(24点)

部門	氏名	学年(年齢)	作品名	居住地	所属
幼児	竹見 美保	年少(4)	浜辺で水遊び	神奈川県平塚市	真土すばる保育園
幼児	野里 あすか	年長(6)	貝がなかった	兵庫県姫路市	クローバー保育園
幼児	松尾 優太	年長(6)	かめとあそんだよ	徳島県三好市	大泉保育園
幼児	阿部 瑛介	年長(5)	ヒョウモンダコ	神奈川県中郡大磯町	大磯幼稚園
幼児	井川 こころ	年長(5)	宝石ばこのうみ	愛媛県松山市	愛光幼稚舎
幼児	矢崎 裕也	年長(6)	カメ	兵庫県明石市	錦浦幼稚園
幼児	山本 有人	年長(5)	ふねにのった!	兵庫県姫路市	クローバー保育園
幼児	真鍋 光晴	年長(6)	大きな魚をつりました	徳島県徳島市	生光学園幼稚園
低学年	片岡 美土里	3年(9)	きれいな川で水あそび	埼玉県さいたま市見沼区	さいたま市立蓮沼小学校
低学年	中尾 拓人	3年(9)	砂浜でたからものさがし	徳島県吉野川市	吉野川市立鴨島小学校
低学年	古田 琴音	1年(7)	さかなといっしょにきねんさつえい	岐阜県岐阜市	岐阜市立長良東小学校
低学年	青鳥 哲也	3年(8)	深海ぼうけん	静岡県磐田市	磐田市立青城小学校
低学年	谷口 智哉	2年(8)	ジンベイザメをみつけたよ!!	静岡県磐田市	磐田市立田原小学校
低学年	森泉 真子	2年(8)	海の底	東京都練馬区	立教女学院
低学年	久保田 紗妃	2年(7)	どうだいと漁せん	東京都足立区	足立区立竹の塚小学校
低学年	佐瀬 歩夢	3年(8)	みなとではたらく人々	神奈川県海老名市	海老名市立海老名小学校
高学年	菅原 うた	6年(12)	沢遊びは楽しいな	宮城県栗原市	栗原市立富野小学校
高学年	田中 駿一郎	4年(10)	ボートで探検	奈良県奈良市	近畿大学附属小学校
高学年	築瀬 詠子	4年(9)	青い海と白い雲と私がつった沖縄の魚たち	神奈川県横浜市戸塚区	聖ヨゼフ学園小学校
高学年	内野 咲南	5年(10)	ずっときれいな海ならいいね	茨城県守谷市	守谷市立守谷小学校
高学年	増山 海世	6年(12)	生き物たちのいる水辺	千葉県千葉市中央区	千葉市立宮崎小学校
高学年	渡辺 大成	6年(12)	紅鮭の川上り	愛媛県今治市	今治市立吉海小学校
高学年	杉内 ひなた	4年(10)	大きな船	高知県高知市	高知市立小高坂小学校
高学年	名田 伊吹	5年(10)	魚市場	兵庫県神戸市垂水区	神戸市立小東山小学校

## ●特別賞(6点)

賞名	氏名	学年(年齢)	作品名	居住地	所属
審査員長賞					
	尾仲 真依	5年(10)	春野の港	高知県高知市	高知市立春野東小学校
審査員長コメント(工藤 和男 画伯 一般社団法人創元会 理事長、公益社団法人日展 評議員)					
漁船や船を係留するボラード(ビット)などからわかるように、ひとつひとつ丁寧に描画表現が使われ、たいへん高い技術で描かれた作品です。ただそれ以上に、作品の中心にある“逞しい背中”がポイントです。これは表現もさることながら、背中から力強く生きる人間の逞しさがとてもよく伝わってきます。このように作品作りを通して逞しさを感じることも大切だと思い選びました。					
日本舟艇工業会会長賞					
	原田 菜央	6年(12)	夏休みの一日	兵庫県明石市	明石市立二見西小学校
日本ユネスコ協会連盟賞					
	寺岡 航	5年(11)	糸とんぼ	熊本県天草郡苓北町	苓北町立富岡小学校
日本マリーナ・ビーチ協会会長賞					
	飯塚 柚稀	年長(5)	砂あそび	栃木県栃木市	バンビ幼稚園
ジャパンゲームフィッシュ協会会長賞					
	米田 陽南	4年(10)	海の中の別世界in沖縄	奈良県奈良市	近畿大学附属小学校
ヤマハ発動機賞					
	藤岡 怜	1年(6)	海の中のふしぎ	徳島県徳島市	吉野川市立立川小学校

※各作品の詳細につきましては、当財団ホームページ (<http://www.ymfs.jp/>) にて、ご覧いただけます。



## ◆審査員長 総評

**工藤 和男 画伯** 一般社団法人創元会 理事長、公益社団法人日展 評議員

今年は応募総数が増えただけでなく、技術的に優れた作品が揃っており、毎年レベルが上がっていることを感じて、喜ばしく思っています。また技術だけでなく、作品がバラエティに富み、子どもたちの個性が十分に発揮されていることも特筆すべき点であり、教育関係者の皆さまの多大なるご努力を感じました。また昨年の震災以降、子どもたちが水辺から離れていく傾向がありました。今年でコンテストは 24 回を迎えましたが、継続して開催し、子どもたちが自然に触れる機会を提供していくことはとても大事なことだと思います。自然をしっかり見つめ、そのありがたさ、優しさをすることは子どもたちにとって本当に貴重な体験であることから、これからもコンテストを通じ、多くの子どもたちが自然に触れてくれることを期待します。



## ■コンテスト概要

**趣旨** 未来を担う子どもたちが積極的に水辺に出かけ発見・体験したことを、子どもらしい素直な表現で自由に描くことを通じて感性が育まれ、のびのびと成長するための一助となることを願い実施する

**テーマ**

- ①遊び・水辺体験 : 海水浴、川遊び、潮干狩り、体験学習、海岸清掃など
- ②港湾・船舶・河川 : フェリー・巡視艇などの船、ヨット、ボート、港、マリーナ、川など
- ③環境・自然・生物 : 海・川・湖などの景色、魚・カニ・タコなどの生き物など
- ④漁業・漁港・漁船 : 漁師、港や魚市場の仕事、水産加工業など

**対象** 小学生および幼児

**募集期間** 平成24年7月2日(月)～平成24年10月1日(月)

**審査** 工藤和男画伯(一般社団法人創元会理事長、公益社団法人日展評議員)を審査員長とする8名の審査員と、後援をいただいている文部科学省、国土交通省、環境省、農林水産省の審査員(各1名)により厳正に審査

**賞典** ●最優秀賞:4点(各1点)

文部科学大臣賞 1点、国土交通大臣賞 1点、環境大臣賞 1点、農林水産大臣賞 1点

●優秀賞:24点(内訳は、応募数に応じて配分)

- ①テーマ「遊び・水辺体験」: 幼児部門 3点、低学年部門 3点、高学年部門 3点
- ②テーマ「港湾・船舶・河川」: 幼児部門 1点、低学年部門 1点、高学年部門 1点
- ③テーマ「環境・自然・生物」: 幼児部門 3点、低学年部門 3点、高学年部門 3点
- ④テーマ「漁業・漁港・漁船」: 幼児部門 1点、低学年部門 1点、高学年部門 1点

●特別賞:6点

審査員長賞 1点

日本舟艇工業会会長賞 1点、日本ユネスコ協会連盟賞 1点、日本マリーナ・ビーチ協会会長賞 1点

ジャパンゲームフィッシュ協会会長賞 1点、ヤマハ発動機賞 1点

●入選:304点

予選を通過した作品

■本コンテストの応募状況

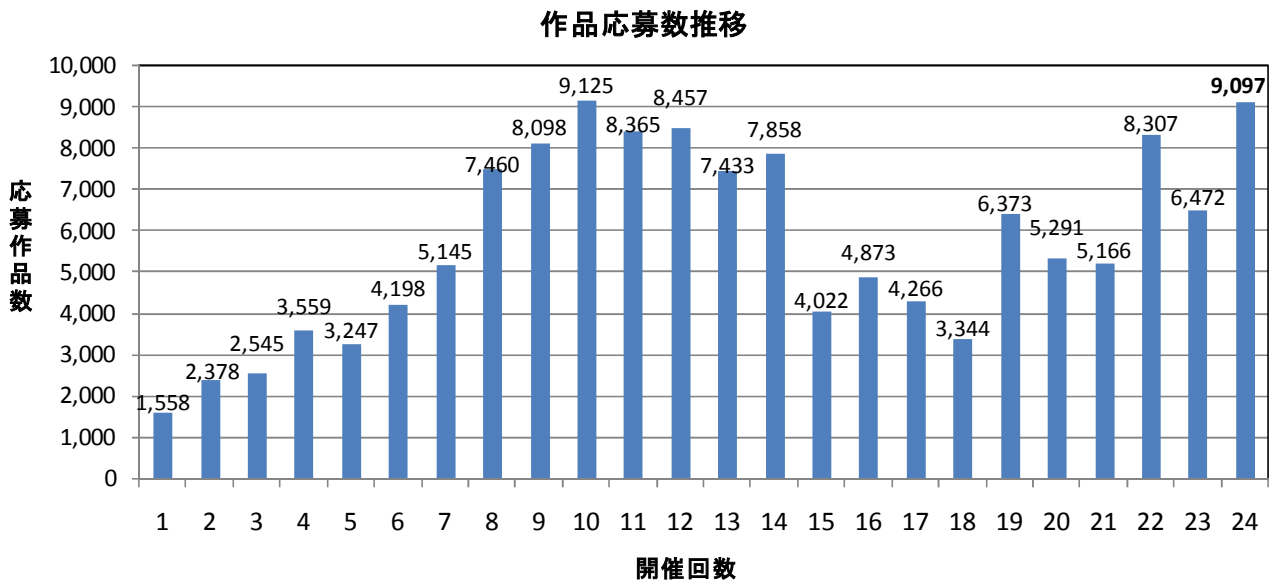
第24回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」では、「水辺の遊び・水辺体験」、「港湾・船舶・河川」、「環境・自然・生物」、「漁業・漁港・漁船」をテーマに7月2日～10月1日の期間小学生以下の児童を対象に作品を募集し、全国各地の幼稚園、保育園、小学校、絵画教室などから合計9,097点という多くの作品が寄せられました。(昨年6,472点)

今回の応募傾向をみると、港湾・船舶や漁船・漁港などの作品応募は少ない一方で、水辺の遊びや体験活動などを描いた作品は全体の半数を占め、実際に海や川などに出かけた時に楽しかったこと、感動したことなどを子どもらしい表現で画用紙いっぱいのにびのびと描いている作品がたくさん見受けられました。学校や幼稚園・保育園で、または家族や友だちと一緒に水辺の体験行事などに積極的に取り組んでいる様子が見え、数多くの体験が子どもたちの感性を豊かにする一助となっていることが伝わってきました。

今後も、子どもたちが豊かな自然の中のでかけ、そこで体験したさまざまなことを通して学んだことや感じたことを自由にのびのびと描くことで、表現力や感性が育まれることを願っています。

なお、入賞作品は、平成25年3月7日(木)～10日(日)に開催される「ジャパンインターナショナルポートショー2013」(横浜市・パシフィコ横浜)で展示するほか、当財団の各種ツールやインターネット・ホームページに掲載する予定です。

◆応募数推移



◆年齢別、テーマ別内訳グラフ

